

卒戸婆小所

特 別  
子 12  
3656  
21





此牙

待えそくろ秋よあふ  
星夜

ま清むをひらう  
是ハ江州

関寺の位僧とてん  
日冬七月

七の少くは海と舟  
皆と鎌堂乃

庭に出る七子乃  
糸を執りし人

又こ能山陰小老  
女乃以ほり哉

結ひ了しり  
奇なるを羨むる

よーく作程よむかきかふ入を成  
ともしあひやはきを女児物持をも  
もつりや少なる  
涼風と袷髻と一何よ来る初秋信  
七日諸子よツやかわぬ  
七子おを向とる糸竹呂律考  
さういごをなほしてあはれ乃

上の

あつち成もひ乃志りてく  
織や錦乃もさし  
ふんて秋を諸露乃玉さるる  
なほの松風まもむる  
手向小のあふゆあ通の形  
おに一舞をえさすれもあつに  
あつちの草一衣乃はく人を

つゝゝゝ神とむを貴ぬよは俊  
なゝゝゝ雨乃しゝは母も侍る  
ゝ神大升るゝ小杉ひゝわ物有  
風よあきゝそゝゝ孫やま屋  
たまゝわ人更にわゝ美事那  
清升よゝ老翁まゝひの巻も  
まゝゝ清乃武ハゝゝ者に

早詞

ゝゝゝ秋老なゝあゝあゝあゝ  
ゝゝゝや葉ゝゝゝちひゝ屋  
ゝゝゝ小き女ゝ中へま事懐ん  
是ハハ閨もよひ母もゝゝ作  
は寺懐児ま奇哉侍りゝゝあゝ  
ゝゝゝ老女乃侍るをや及行ひ  
哥後よ女海なやまゝとらひ

又は物語をもめくをためり  
究くもい終へ清出くして

三訂

是の思ひしものぬ事すをめり  
もみり明きもき来能人き事ぬ  
いもいかなわ再為絶よ出以面  
いもいあふいびをいひと  
言葉の舞こ者みり百ちがも

あふいあふいあふいあふい

あふいあふいあふいあふい

三訂

あふいあふいあふいあふい

あふいあふいあふいあふい

あふいあふいあふいあふい

あふいあふいあふいあふい

あふいあふいあふいあふい

三訂



たまにさるをばりてし  
ふせとて遠きいよ敷けき  
ま物乃糸たしぬ物葉のさる  
うねぬごひ冬ふとおほめ  
だといひ阿ま流りてさる  
は哥の文まあしるるあとも  
はぶせや早詩かかたうん

あまき哥人遠きと美おほ  
いんとも女に哥をま物ぬるに  
老女乃流事たきしなま  
あうらんおせこかしくあよひ  
なまをさるる小若此乃あま  
うりてさるるもて終る女の哥  
作早詩ははしるる通ね乃

清哥なまき家通姫とけりんくま  
天皇社たままきしるまき  
ふく老もくもおぼもむ通外乃  
流をちうまふひらん 早詞 ちをち  
初通外若流をふりひ終ふりや  
む子まきんたる小野小町くま  
さしほまひめ乃流まの終り終

まひぬまきちるまきまきまき松を  
た〜まき〜まき水あ〜まき〜

シテ おもい シテ 是ハ小町の奇ん  
ハ終ハ大江乃流の心かり  
む〜終〜世中物う〜に

詞 文屋乃原秀り三河まになまき  
む〜む〜 河田舎ま〜む〜



あゝききめより〜とを流り

二三

ほや舟より〜いなるわたり

年取強〜も我をきき流り

うは〜と流又思り〜少きよ

呈詞

不思議やあまのいぬまのこを

わの流たり〜と流る又家通

娘の流とやえは流も小町なり

あま月を〜か少流よき女を

も〜小及ぬと〜くを流小町乃

あ〜〜と流も〜い流に

あ〜〜と流を〜い流も

あ〜〜と流も〜い流も

あ〜〜と流も〜い流も

あ〜〜と流も〜い流も

かゝる心もさるる心も  
清き心も世中染む心も  
心乃ハ形やえおるは  
まひぬまきち身茂うまゐる乃根を  
たしてまじうみ水あうちりも  
いなんとまじうおもひをたす  
実やはこもとも袖よたまぬ

上書目

まじくまじく人をえぬ乃波衣雨  
あふさる乃こ茂思ひるおり  
まじくまじく身乃をまじくま  
白露乃必残思ひは  
まじくまじく心と清き心は  
清き心もち身の上よな  
まじくまじく一月茂送る人

日

中一ノサレ



まゝに致すといふ可きをわすれり極よ  
蓋兼成掛だに冬水晶をけし極  
流し雲奥原車若玉羨ぬ若くは  
りきりきりきりきりきりきりきり  
内よしきハ都子孫の志や由流  
おまじりし那も方な終せらる  
きよぬ乃こや大由を志きり原

ふしき 関寺子孫乃あし流行  
豆りきりきりきりきりきりきり  
屋く致なりき板乃山風子孫生  
滅法衆しりきりきりきりきり  
飛兼成葉乃折く冬寸々流りきり  
りきりきりきりきりきりきり  
ぬりきりきりきりきりきりきり

言結葉落しつゝの暮まやま  
あきけふもしほはなぬを  
をう暇の哥を紙をいも志  
かひ若身およりるをりもを骨  
也と詞 也と詞 七女の糸  
をうありるをん 早詞 七女の河能  
うううんおせ七女流を何衆

あうひを流出人了流流んらん  
也早詞 也早詞 七女ハ橋早 七女  
程の思ひもあつた作早 何

ぬ事上あり 大く流出作へ  
七女若穢急竹老手何あひり  
程了り加を流あ乃小野小町能  
百首よ及ぬや天流河あひ衆









